

令和5年度 訪問看護師病院等研修事業プログラム

	時間	ねらい	研修内容	講師予定	
第1回	11月24日 (金) 県民ふれあい 会館5階 特別研修室	9:50~10:00	オリエンテーション		研修担当者
	10:00~12:30	・最新の透析治療について学び、病院内で行われる患者指導・退院指導・退院調整を知ることができる	【講義】 透析治療の基本 最新の透析治療と看護 病院でおこなわれる患者・家族への指導（退院指導） 退院調整と多職種連携のポイント	公立学校共済組合東海中央病院 透析看護認定看護師 薄井 園 氏	
	13:30~15:30	・最新の看護ケアを学び看護スキルの向上を図ることができる	【講義】 ①フットケア・足病変に対するアセスメント・セルフケア支援 ②高齢者のスキンケア・スキンテアの対応と予防 在宅でできる予防的スキンケアのポイント 【演習】 ・フットケア・爪のケア ・スキンケア・スキンテア予防	公立学校共済組合東海中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 稲垣 牧子 氏	
	15:30~16:00	・実習の目的を理解し、スムーズに実習に臨める	・病院実習についてのオリエンテーション	研修担当者	
第2回	12月~ 1月 ※調整中	8:30~17:15 の間で調整	・病院における退院調整について理解し、医療ケア等について最新の知見を得ることができる	【実習】 病院での実習・見学実習 ・地域連携室 ・病棟 ・外来 等	地域の病院にて
第3回	2月7日 (水) 県民ふれあい 会館5階 特別研修室	9:50~10:00	オリエンテーション		研修担当者
		10:00~12:00	・地域包括ケアにかかわるさまざまな職種の役割と機能について理解できる ・地域の社会資源について理解できる	【講義】 地域包括ケアシステムにおける多職種連携で看護師に求められること ・関係機関、関係職種との連携、介護支援専門員の立場から ・社会資源と福祉制度	ケアプランセンターひだまり創 管理者 安達 智紀 氏
		13:00~16:00	・それぞれの現状・課題や専門性を理解し相互に連携できる関係を構築することができる	【演習】 訪問看護実践研修との相互研修 合同研修の目的： 『看看連携の実際を振り返り、関係機関職種の専門性を尊重し、円滑な連携が理解できる』	(ファシリテーター) ・ケアプランセンターひだまり創 管理者 安達 智紀 氏 ・病院地域連携室・退院支援看護師 ・訪問看護ステーション管理者 等 (4名~6名の予定) * 研修の参加人数によりファシリテーターの人数の調整は検討する

自施設での演習

<p>第3回の研修後~ 2月28日までに実施 (各職場にて日程調整)</p>	<p>・研修での学びを自施設で報告し、看看連携や多職種連携・退院調整・看護技術を共有できる</p>	<p>・自施設において研修内容の共有をおこなう ・実施の経過・結果についてレポート作成し提出（様式あり）</p>
---	---	--

※感染症等の影響により、実習の中止・実習日の変更となる場合があります。